

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県地方独立行政法人明石市立市民病院 明石市立市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	透I訓	救臨地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	24,608	非該当	非該当	7:1

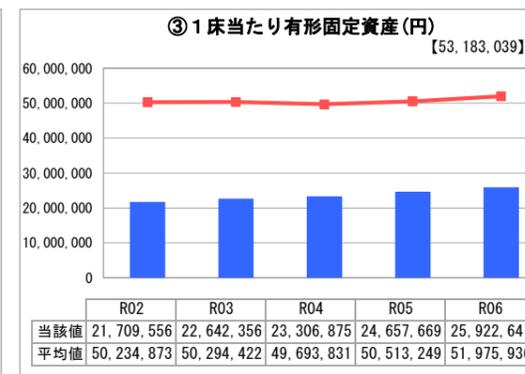
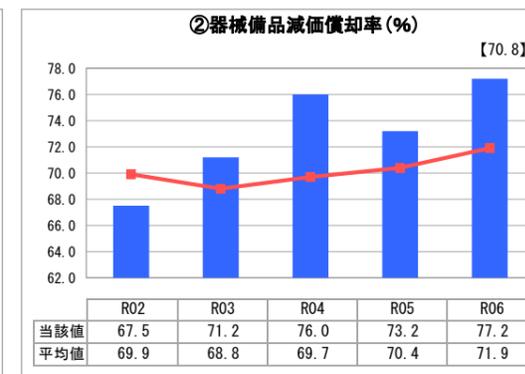
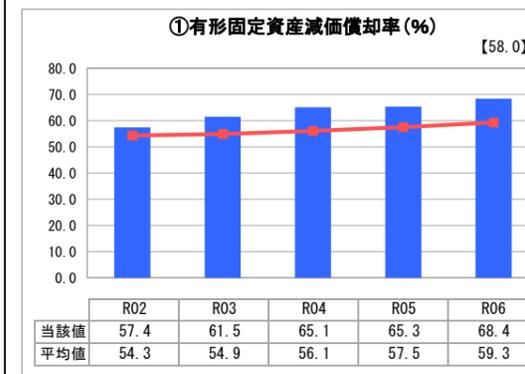
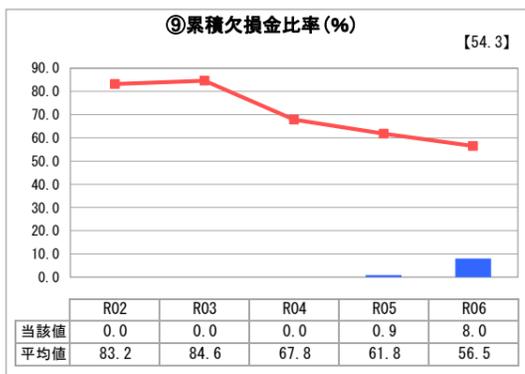
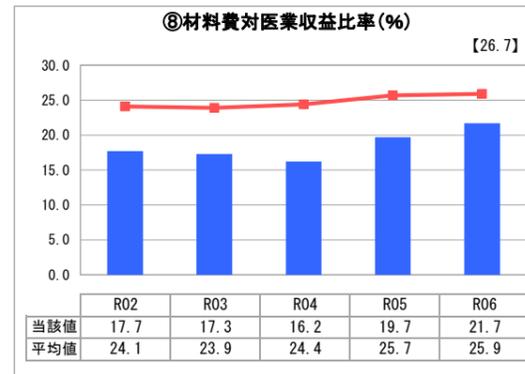
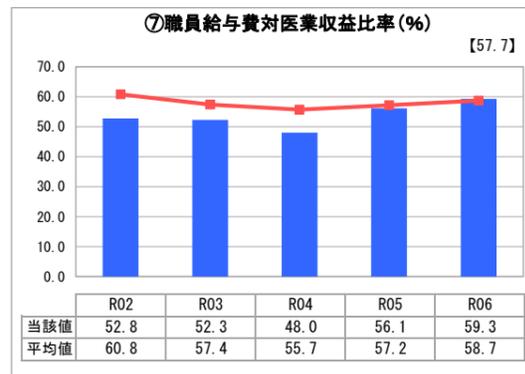
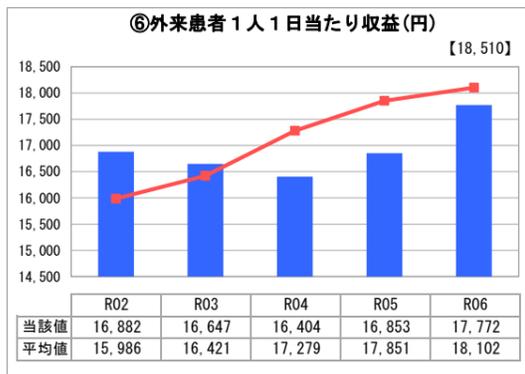
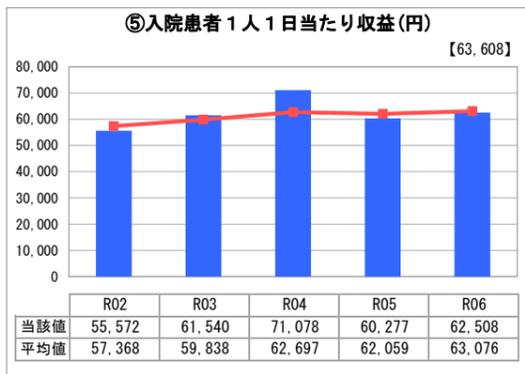
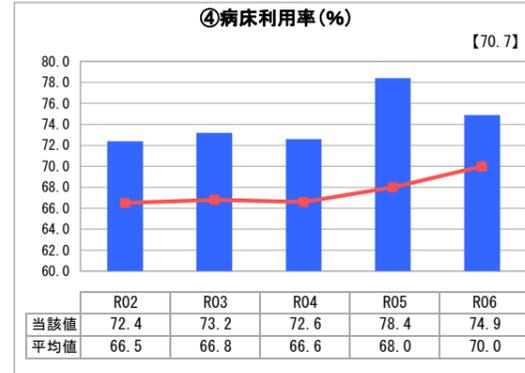
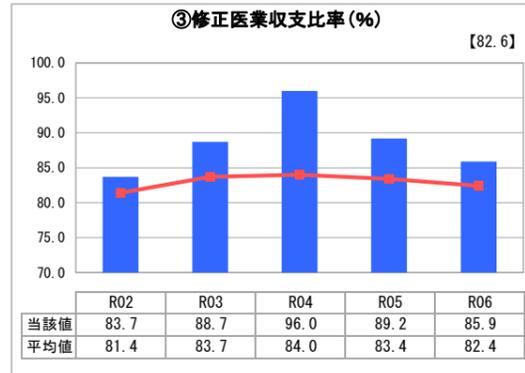
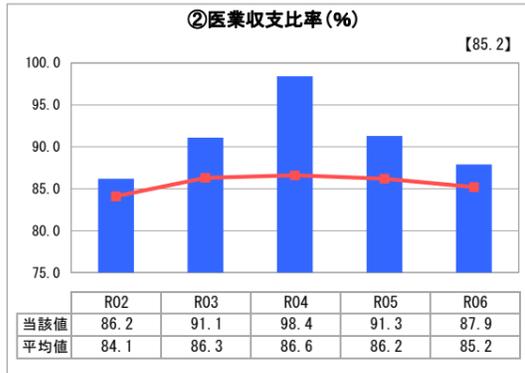
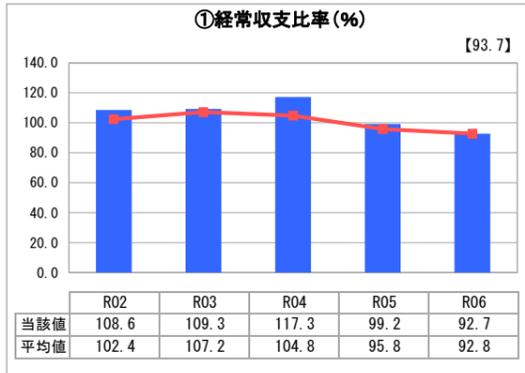
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
329	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	329
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
313	-	313

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
□	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	平成23	-
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

市東部を中心に、主に救急医療・急性期医療を担う地域の中核的病院である。
急性期医療を核に、一部有する回復期機能を活用しながら総合的医療を推進する。
地域の医療機関と連携し、緊急時の受け入れを行う在宅療養後方支援病院としての役割も担う。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

前年に比して、病床稼働率は低下したものの、診療単価の上昇により医業収益は微増となった。
一方で、費用面では、物価高騰や人件費の上昇等による給与費や材料費等の経費の増大により、経常収支比率は100%を下回り、前年を上回る当期純損失が生じた。
物価高騰等の社会情勢の変化による影響も大きい。持続可能な病院経営を目指し、病床稼働率の向上等や人件費・経費の適正管理等により、経営改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は9.1ポイント、器械備品減価償却率についても5.3ポイント、全国平均より高くなっており、いずれも前年度より増加していることから老朽化がさらに進行している状況である。
安全・安心な医療提供を維持するため、適切な保守点検と計画的な設備投資による現施設の長寿命化を図りながら、地域において担うべき病院機能を維持していく必要がある。

全体総括

平成23年10月の地方独立行政法人化以降、医療の質のさらなる向上と安定した経営基盤の確立に向け、経営努力を続けている。
令和6年度は、過去最高の受け入れ件数となる救急患者の受け入れを行うなど、高度な総合的医療の提供を推進したものの、経営面では、物価・人件費の高騰により、経営状況は悪化し、前年を上回る赤字となった。
今後の経営においては、引き続き、持続可能な病院経営をめざし、さらなる経費削減、労働生産性の向上に努めながら収益確保を図る必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。